

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'92

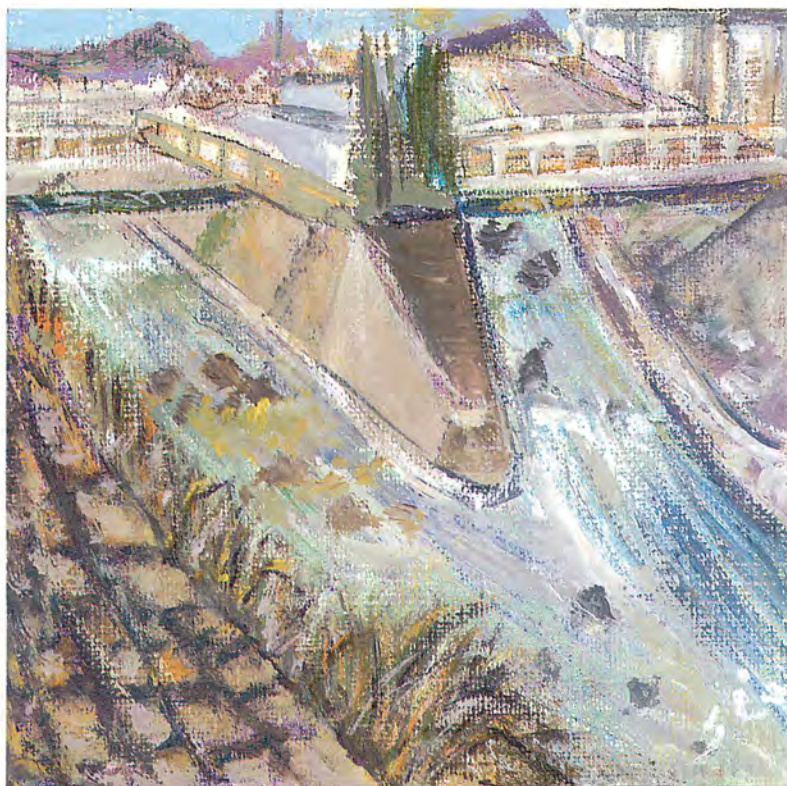
11

月号 【1日発行】 無料

「かわさき

「ニューイヤークンサート」

前売迫る!



亀井橋と麻生橋



いまを話す

米山市郎 川崎市文化協会会長
貧しさは尊い体験です

1992年

11月号

もくじ

随想 七掛け人生でいきいきと……………高橋清 川崎市長……………3

連載(へいまを話す)貧しさは人情のキビを教えてください

尊い体験であった!……………米山市郎 川崎市文化協会会長……………4

はりきっています グループ紹介

気楽にお茶を楽しむ 『多摩煎茶研究会』……………8

市産業振興財団がハイビジョンソフトを!!

『川崎の産業遺産』を制作……………12

◎ 学習・文化情報……………9

◎ 「ステージ・アップ」/配布場所……………13

◎ 遊びの広場……………14

『お父さんや近所の子と遊べ楽しいな』

「かわさき

11月25日 ニューイヤークンサート」前売迫る!……………15

◎ 随想絵……………サルトリイバラ(山帰来)と野菊……………田村あや

◎ もくじ絵……………ザクロ(左上)とブドウ(右下)……………清水幹子

◎ 表紙絵……………田中千代学園短大入口バス停下車 下麻生と町田三輪町の間

亀井橋(右)と麻生橋(左)……………田島志織



◎随想◎ 高橋清——川崎市長

思いつてまます。



新聞報道によれば、六五歳以上の高齢者は全国で一六二二万人、総人口に占める割合が一三%に達し、過去最高だということだ。

二〇年前には、総人口比で七%でしたから、日本の社会はそうとうのスピードで長寿社会に進んでいることになりました。

ちなみに、川崎市の六五歳以上のお年寄りの総数は一〇万二千人、人口比で八・八%となっています。他に比べれば低くなっていますが、それでも毎年確実に増えており、川崎市も長寿社会にむけて目下進行中といえます。

言うまでもなく、長生きしたいという欲求は人間誰しもが持つ本能的願望であり、その願望がある程度実現される時代になったことはすばらしいことだと思えます。しかし、高齢化社会の到来という、社会の活力が失われ、近い将来深刻な時代が訪れるといった、

マイナスのイメージでとらえようとする論調を目にすることがあります。読みようによつては、長生きすることが、何か不幸をもたらすような気分になり、もう一つ釈然としないものを感じさせられます。暗いイメージを強調し過ぎるというのほどかおかしいのは、というのが私の率直な気持ちです。

七掛け人生でいきいきと

そんな折、ふと目にした朝日新聞の「天声人語」で、こうした疑問にヒントを与えてくれる文章に出会いました。曰く——人間の「元氣さ」は、昔と比べて、七掛けで考えた方がよさそうだというのです。つまり、今の六〇歳は昔なら四二歳、七〇歳は四九歳と考えた方が現代人の気分にあさわしいのではないかと。

ライフスタイル七掛け説をとれば、例えば六〇歳をこえてから大

学入試に挑戦するといった話や、八〇過ぎのお年寄りが若い時の技術や知識を生かして地域ボランティア活動に精を出すといったことは、なんら不思議ではないことになりません。現に、川崎でもこうしたお元氣なお年寄りに出会うことは珍しいことではありません。

長寿社会とは、長くなった高齢期を活用して、若い時には見出し得なかつた新しい価値を再発見するチャンスが広がる社会であると考えたいものです。必要以上の危機感の強調は、高齢者のイメージを画一化してしまい、お年寄りの人間としての生きる意欲と豊かな可能性に目をつむることになりはしないかと危惧するのです。

もちろん、お元氣なお年寄りが増えてきたからといって、長寿社会に対応した福祉・医療政策をなしていかにすべきでないことは言うまでもありません。むしろ、高齢者のための施策は今後ますます重要になってくるはずですよ。

川崎市では特別養護老人ホームを、二〇〇一年までに二五カ所建設するべく計画を策定中です。お

年寄りが「健康で、生きがいをもって、安心して暮らせる」ための施策の充実を急ぎたいと思います。その際、留意すべきことは、施設やサービスを量的に充実させればこと足れりとしてはいけないということですよ。一人ひとりのかけが



えのない現在に、生きる意欲を吹き込む刺激として、それぞれの施策の目標はあつたのだという、福祉の原点だけはしっかりと肝に銘じておきたいと思つていきます。

(九月二六日記す)



川崎市文化協会会長
米山 市郎 さん

いまを話す

インタビューー 藤嶋とみ子さん (扇乃会会主)

Vo 1.10



川崎大空襲で焦土と化した敗戦後間もない頃から、紙工品販売会社社長（現会長）の本業に動しむと同時に、「市民文化を創造しよう」と活躍されてきた川崎文化協会会長、米山市市郎さん（78）。大気汚染が昭和四十年代に酷くなり、「公害都市・川崎」「東京と横浜の谷間」にある文化不毛の川崎のイメージが全国に広がった。それにめげず、米山さんは、文化都市川崎を目指しつづけて市内を歩いた。「負けず嫌い」と頑固さがそうさせたのでしよう」とさらりと言う。

インタビューアは、中原区でお年寄りに日本舞踊を教えるなど、ボランティア活動に熱心な花柳流扇乃会会主、藤嶋とみ子（芸名・花柳錦右）さん。

貧乏の経験は尊く 幸せ実感できる源

米山さんは、日ごろから社会奉仕や文化活動など、幅広く活躍されています。一市民として深く感謝しております。私が米山さんに初めてお目にかかったのは、娘時代です。父の郷里が伊那（長野県）で、同郷のよしみと尊敬の念からお付き合いをさせていただき、相談にも乗っていただき、ありがたうございます。

米山さん（恐縮しながら）いや、それはわたしの方が言うべき言葉です。本当に昔から縁がありましたね。

今年、亡くなられた愛子夫人は、いつも米山さんの健康や食事などに気を配られるなど、一心同体でした。私は「夫婦の鏡」と尊敬しておりました。お二人のなり染めをお聞かせください。

米山さん（照れながら）いや、人にお話しするロマンスなんかありませんよ。私は小学校を卒業して間もなく、隣村の個人病院に下男奉公（住込みの雑用係り）に出ました。そこに資格を取るため、看護婦見習いをしていたのが女房です。

結婚後に川崎に来られたのですか。

米山さん いいえ。私はそこで三年間奉公した後、上京しまして九年間の文通時代を経て、結婚しました。私が二十七歳、妻が二十八歳の時です。

愛子夫人は、お名前のとおり「愛」に満ち溢れた方でした。私は母から「すべての従業員からお母さんと慕われている米山さんの奥さんを見習いなさい」とよく言われました。新婚の方が奥様を慕って、よく相談に伺っていましたね。

米山さん 家内は、気さくでガラッハなところがあり、その点では、アットホーム的だったと思います。私たち夫婦には、実子がかかったので、お世話した人達をわが子と思つて、悩みを聞いてあげ、アドバイスするのを楽しみにしていた面もあったようです（しんみり）。

ところで、奉公時代は苦労の連続だったのではありませんか。

米山さん 奉公当時と現在では、時代が違い過ぎ、理解されなれないと思います。が、「赤貧洗うが如し」と言う言葉がありますが、これは

少年時代、3K職場で働く 現代の若者より精神面は充実



「貧し過ぎて、洗い流したように持ち物が何もない」ということです。少年期の私は、文字どおり貧乏を絵に描いたようなものです。—— 上京されてからの生活はどうでしたか。

米山さん 三年の下男奉公を終えた十七歳の時、二円五十銭を懐にして上京しました。大森駅前(東京都大田区)の紙店の住込み店員

になり、月給は七円です。そのうち五円を実家へ送金、二円で生活しました。当時は作業ズボンが八十五銭、うどん十五銭、五目そば二十銭です。—— 労働条件は……。

米山さん その頃、労働条件なんていう言葉があったかどうか。雇って貰えれば、ありがたい時代です。朝六時に起きて夕方六時

まで、蒲田や川崎の小売店へ大八車やりヤカーで配達し、夕飯後も近くの店に配達していました。実質十七、十八時間労働になりますかね。

—— ご兄弟は何人ですか。

米山さん 九人兄弟で私が長男です。貧乏人の子沢山だったので、両親も大変だったと思います。

—— 小さい時から弟や妹のため一生懸命お働きになったのですか。奥様の実家も貧しかったのですか。

米山さん ええ、女房も六人兄弟の長女で、父親を早く亡くし、幼い頃から一家の支えとなって頑張っていました。

—— 大変だったのですか。

米山さん いやいや、「大変」という感じはないのですね。むしろ、二人とも貧乏だったからこそ、豊かな時代になった今の生活の幸せが分かり、世間様に心から感謝できるのでしょう。貧乏の経験を「尊い」ことだと思っています。(淡々と)

—— 米山さんは、大変な博識で、特に文化・芸術について造詣が深いです。住込み店員の頃、上の学校に進もうと思っても仕事に追われて時間がとれなかったと思

米山 市郎 さん

よねやま・いちろう=大正3年、長野県飯田市生まれ。昭和21年、川崎で紙工品販売業を創業。29年、川崎カーニバルを創立し委員長。同年、市能楽連会長。49年、川崎大師薪能を創立し会長。53年、市中学生能楽教室を設立。同年、川崎ロータリークラブに米山記念奨学委員会をつくる。59年、市総合文化団体連代表。同年、かわさき市民芸術祭を創立し会長。60年、川崎市文化賞受賞。

うのですが……。

米山さん 当時、私は専検(専門学校資格検定試験・現在の大検)を目指していました。勉強の時間がないため、参考書だけを持って夜逃げしたこともありました。

—— 今の中学、高校生に比べてあまりにも差が大き過ぎますね。今は高校進学が当たり前です。「苦学」という言葉が死語になるなど幸せですね。

米山さん 私は逆に、今の若者は不幸だと思っています。それは「幸せは自分で獲得するもの」と

いう人生哲学がわかっていない。物質第一主義で精神面の充実を忘れていきます。若者全員ではありませんが……。

米山さんに指摘されてみると、なんとなく通学しているような感じの学生をかなり見掛けますね。さて、保護司やロータリアンなど社会奉仕に長年携わってこられましたか、何年になりますか。

米山さん 保護司は二十八年、



ロータリアンは三十三年になります。

ロータリーの米山奨学基金は年間何人ぐらい援助してるのですか。

米山さん 東南アジア、韓国、台湾などの留学生を対象に年間約十人で、一人当たり五、六万円援助しています。向学心に燃えた優秀な若者ばかりです。

事業をしながら長年、ボラ

ンティアを続けられるのは、やはり幼少のころのご苦労がそうさせるのでしょうか。

米山さん さあ、どうでしょう

戦後 新能をキャバレー借り公演 いまこそ、伝承文化の継承

米山さん 朝会とか点呼はしま

せん。火の用心と交通事故防止については厳しく言いますが……。ただ、中卒者には「高校の知識を目標せ」。高校卒者には「大卒以上の知識を身につけるよう」に話します。それは「若い時にやることは、人間を磨くことだけだ」と思うからです。

保護司の立場から非行少年の増加をどうみますか。

米山さん 大きなことは言えませんが、第一は教育の欠陥、つぎに家庭のしつけでしょう。反動といわれるかも知れませんが、私の教育の源は教育勅語です。内容の一部(の誤り)は直さねばなりません

が「父母に孝、兄弟に友に夫婦相和し、朋友相信じ恭儉己を持

か。赤貧洗う時代の思い出が残っているのは事実でしょうね。社員教育は、どのようにされていきますか。

し博愛衆に及ぼし学を修め業を習

い「知能を啓発し」などの徳目は、永久に通じるもので、教育の原点です。しつけの問題は、教師や社会が悪いと言う人もいますが、親がしっかりしなければ何ができましよう。しつけは各家庭でしっかりやるべきものです。

戦後の復興から、ずーっと、川崎とともに歩んでこられたわけですが、川崎市文化協会はいつか



藤嶋 とみ子 さん

ふじしま・とみこ=昭和19年、川崎市中原区に生まれる。人間国宝・花柳寿楽師に日本舞踊を修業。芸名は花柳錦右。現在、中原区中丸子の自宅で扇及会会主として古典舞踊伝承のため活躍する一方、川崎にちなんだ創作舞踊に取組む。昭和51年、テキサス大に招かれ、日本文化の講師を務め、3年ごとにヒューストン・オースケンの生徒に日舞を指導。今年4月、同大の日本デーで公演。

らですか。

米山さん 同協会は昭和二十八年にできましたので、来年でちょうど四十年になります。衣食住の豊かな今こそ、何百年と続いた伝統文化を継承するのが、私たちの義務です。

大師の「薪能」は、米山さんが始めたと言いましたが。

米山さん 薪能は、焼け野原の昭和二十三年からです。能の演者やはやし方が少なく、故・川島医師たちと苦勞してスタートしました。会場がなく川崎公民館(教育

独学の情熱、負けず嫌いから



文化会館の前身)や、時にはキャバレーを借りてやったこともありました。最初は自腹を切りましたが、市の補助もいただくようになり、四十九年から川崎大師平間寺のご協力を得て、今日に至っています。

川崎駅前の能楽堂は、指定都市では初めての施設ですね。

米山さん 伊藤三郎・前川崎市長のご理解と市民のご協力で完成し、今では能だけでなく、ほかの芸能にも利用されています。

能とは対照的に一昨年、川崎で生まれ育った詩人、佐藤惣之助の生誕百年にちなんで「歌謡大賞」を募集し、全国的に注目を集めました。あの発想はどこから出たのでしょうか。

米山さん あれは当時の市教委文化課職員のアイデアです。全国から千数百点の応募があり、川崎のイメージアップに役立ったと喜んでいきます。

米山さんはまとめ役に適任

米山さんは、ご自分で自業をやりながら現在、文化団体をはじめ、約二十団体の「長」の重責を果たしておられますね。特に専門家の多い文化団体のまとめ役は大変と思いますが。

気心通じあう日頃のおつきあいが大切

米山さん 自分でまとめ役として考えたことはありませんね。強いていえば、両方の話をよく聞いて、お互いが譲歩できるところは探し、譲り合ってもらうことでしょう。それと、日頃から気心を通じあえるお付き合いがあると思いますよ。

米山さん 川崎を愛する源は何ですか。私を育ててくれた第

二の故郷だからでしょうね。多くの市民は「いま住んでいる街を少しでもよくしよう」と考えており、私はそのお手伝いをしていただけです。

—— 高学歴社会化が進み、女子は短大卒が普通になりつつある半面、ご飯も炊けない、包丁も握れないのが現状ですが、米山さんは、すべてで独学で努力を重ね、仕事と文化をうまくミックスしながら川崎に大きく貢献され、文字どおり「生涯学習」のお手本と思います。学ぶことの楽しさは、どういうところにありますか。

米山さん あまり、ほめないでください。一口で言えば「負けず嫌い」から出ていると思います。それと頑固と言われようと、やはり好きなことは続けて勉強し、どうしても行う必要がある事柄は、実行に移すよう努力していると、自然に夢中になり、楽しくなるものです(笑顔で)。

—— きょうは、ご多忙中、貴重なお話しをお聞かせいただき、ありがとうございます。ご健康に留意され、今後のご活躍をお祈りいたします。

（題字は高橋 清川崎市長）
構成・文責 田中 圀

かわさき・エクセレント モーツァルト・オペラ

「フィガロの結婚」リメイク版日本語公演

前売り券好評発売中

11月10日(火)午後6時45分開演
川崎市教育文化会館大ホール
A席=4千円 B席=3千円

[出演] スザンナ 佐藤しのぶ フィガロ 池田直樹 伯爵夫人 大倉由紀枝ほか
●お問い合わせ ☎044-952-5000 (財)川崎市生涯学習振興事業団



気楽にお茶を楽しむ

多摩煎茶研究会

いそろも、そりよす

グループ紹介

「多摩煎茶研究会」は平井永子代表(54)の会員十六人は「地域の人たちと気楽に負担なく」月三回金曜日の午後、多摩市民館和

さまざまな作法を体得 友人招き楽しくお茶会

室でお茶を楽しんでいる。

正座が日常的な作法でなくなつた現代では、静かな空間でお茶を入れる、という過程そのものが「最高のおもてなし」といえる。

会員は四、五十代の主婦が中心。練習用の衣裳の一部でエプロンのような半裳は手作り、家庭的な雰囲気漂っている。

お稽古は煎茶、玉露のお点前の他に、紅茶やウーロン茶、ほうじ茶のお点前もあり楽しい。また、夏には氷水を使った水茶、新年には「仙酒点前」と呼ばれるお酒のお点前など様々で堅苦しさはない。この他に、お茶の飲み方や歩き方などの「茶法」、床の間に季節感を出すために花、野菜、果物を飾る「盛物」、お茶会の場を取り持つ「席主」の心得なども学んでいる。

流派は京都・万福寺に本部がある「黄檗東本流」で、昭和五十四年に会を発足させた。六年前からは教授の「看板」をもつ三人が先生を務める。

煎茶道の可愛らしい道具に心がひかれ入会した小林敬子さん(58)は「日本人にとってお茶は、慣れ親しんだもの。おいしいお茶の飲

み方を知り、楽しさが倍増しました」と話す。

阿久津秀子さん(44)は「作法を体得できたので、扇子の持ち方、あいさつなど結婚式で役に立ちます」と日頃の成果に満足そう。

大森けい子さん(55)は「煎茶にもお点前があるとは知らなかった」が「やってみたら面白い。家庭にあるお茶碗を使ってお茶会をする時、友達に能書きを話すのが楽しみ」と笑顔。

「お客様に『お茶がおいしい』とほめられるんですよ」と村田和子さん(65)。「殺伐とした世の中で、お稽古中は無心になれるのがいいですね。人への心遣いや、家の人にお茶を飲ませる喜びも感じます。道具を揃えて自分なりに家で楽しみたい」と静かに語る。

「煎茶道を生きがいに、お互いが向上できる会」の同会は、多摩市民館が改築をする三年間の場所探しが悩みのタネ。「月に一回でも続けていきたい」と同代表。

同代表宅は相模原市上九沢三四〇一八、☎042716313288。

取材・松本成代
カメラ・田島志織

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演



市外局番のないものは044

学習・文化情報

「親子スポーツ教室」市

体育館」来年1月22、3月26日の金曜。全10回。A班は9時半、10時半、B班は10時45分、11時45分。リズム遊びや、ボール、縄、マット、跳び箱を使い親子で楽しく遊ぶ。講師は横浜体育クラブ指導員。対象は市内在住の3歳児とその親。定員各50組。参加費3千円。申込みは12月18日10時に直接来館。☎200013255(担当:伊東)。

「子どもの本の世界」成長を描く視点◆県立川崎図書館」来年1月21、28、2月4、10、18日の10、12時。全5回。絵本作家、児童文学者、評論家の話を聞く。講師は絵本作家の岩村和朗さん他。定員60人。受講料3090円。申込みは11月15、12月15日にハガキで〒210川崎区富士見2-1-14、県立川崎図書館閲覧

課・県民アカデミー係。保育(3歳以上)希望者はその旨記入。☎233314537(担当:野田)。
 「サロン・ド・稲毛」稲毛神社参集殿」11月16日(月)18、20時半。テーマは「漢方の心と知恵の話」。講師は桃季堂漢方薬局店主の米山雄次さん。会費4千円。☎22214554。
 「介護体験教室」大師保健所」11月4、25日の毎週水曜13、15時半(18日は10、12時)。全4回。清拭、車椅子の体験、施設見学など。申込みは☎26610128の同保健所・保健予防課。

詳しくは☎87718161(内)28の高津保健所・保健予防課(主催)。
 「メイキングビデオ講座」市民ミュージアム」カメラテクニックコース、撮影テクニックの完璧マニュアルは11月7、8日の11、16時。全2回。ビデオカメラの基本操作から機能をフルに使いこなすまでの実習中心。講師は木寺祥友さん。定員20人▽編集テクニックコース▽初心者のためのビデオソフト制作術は11月14、15、22、23日の14、17時。全4回。ビデオ編集の仕組みと機器の使用法を中心にタイトル作りや音楽、ナレーションなどの録音まで。編集作業の全プロセスを実習。講師は三重野淳平さん。定員20人▽ビデオ制作基礎コース(レクチャー編)▽初心者のための著作権入門は12月6、13日の11、16時。全2回。講師は桜井郁也さん。定員30人。いずれも参加費4千円。☎75414

「思春期セミナー」高津市民館」11月27、12月2、8日の13時半、15時。全3回。思春期の心と体の正しい理解と、健やかな発達を促す親の対応や、タバコ、酒、エイズなどの社会問題を取り上げる。講師は帝京大医学部付属病院産婦人科の永江毅さん。受講料無料。定員3百人。当日直接来館。

「読書普及講演会」宮前市民館」11月22日(日)14、15時半。テーマは「文学よもやま話」。講師は阿川弘之さん。申込みは11月8日10時より☎88813918の宮前図書館(主催)。
 「親子の絵本ふれあい講座」多摩市民館ほか」11月4、11、17日の10、12時。全3回。ストーリーテリング講習会「お母さんは語り手」。お母さんの優しい声で語ることの大切さを考え、読み聞かせの実習も行う。講師は語り手たちの会の櫻井美紀さん。定員30人。申込みは☎91119323の多摩図書館(主催)。
 「リカレント学習講座」あなたも先端技術の知識を!」11月25、来年3月27日の水曜18時半、20時半と土曜8時半、12時半。全19回。テーマは「21世紀の社会・生活に寄与するエネルギー・エレクトロニクス技術」。

「教養公開講座」総合教育センター」11月13日(金)14時半、16時半(受け付け14時)。テーマは「劇的生活」日常生活と演技」。講師は俳優で大阪芸術大専任教授のフランキ一堺さん。対象は市内在住の方。定員先着250人。入場無料。申込みは☎84413731の同センター・第3研究室。
 「楽しく学ぶ麻生区のだ

ホームエレクトロニクス、マルチメディア、通信システムなどについて理解を深める。講師は生活文化研究所・中村祐二所長ほか。受講料無料。対象は市内在住の勤者。定員先着40人。申込みは11月16日(必着)までに往復ハガキに氏名、住所、電話番号、職業、性別、年齢を記し、〒210幸区大宮町27・東芝人事教育部(☎5116541)。(株)東芝、県教委、市教委主催。詳しくは☎200013303の市教委・社会教育課。

「楽しく学ぶ麻生区のだ

学習・文化情報

参加したい催しがある

めに伝えてほしい。あなた
の学び◆麻生市民館「11
月21日(土)14時～16時半。現在
策定中の麻生区の生涯学習
基本計画に区民の声を反映
させるのが目的。申込みは
11月20日までに☎9511
1300の同館。保育あり。

「骨髄移植とは◆エポッ
クなかはら」11月29日(日)14
時～16時半。骨髄バンクを支
援するシンポジウム。講師
は県立がんセンターの丸田
孝朗さん。映画上映、ディ
スカッションも予定。入場
無料。詳しくは☎0451
90217519の黒部さ
んか☎046312110
010の神奈川県骨髄移植を
考える会事務局(主催)。

「女性セミナー」話し言
葉実践編◆県立勤労女性会
館「11月11、13、18、20、
26、12月4日の13時半～15
時半。自分を分かってもら
う話し方を身に付ける。講
師は話し方マナーズの新井
良子さん他。対象は県内在
住在勤の女性。定員30人。
☎51110451。

「老人保健法による健康

教育◆宮前保健所「11月5
日は腰痛の話(向ヶ丘整形
外科の山本様さん)▽30日
は糖尿病の話(三浦内科医
院の三浦義幸さん)▽12月
11日は大腸がんの話(鷺沼
クリニックの上田巖さん)
▽21日は骨粗しょう症の話

(高口整形外科医院の高口
洋朗さん)▽1月13日は肥
満の話(森島小児科内科の
森島昭さん)▽18日は高齢
者の寝たきり予防について
(丸田クリニックの丸田桂
子さん)。いずれも14時～15時
半。参加無料。定員60人。
申込みは☎8561325
4の同保健所・庶務課。

「イキキ働く女性のた
めの講座◆県立川崎北労働
センター」11月20日はスタ
ーとした育児休業法。講師
は弁護士谷口優子さん。
労働現場の実情と育児休業
法の理解を深める▽27日は
パートの採用から退職まで。
講師は法政大講師の野間賢
さん。働く上で適用される
法律を学ぶ。いずれも13時
半～15時半。定員30人。受
講料無料。2歳以上の保育
あり。☎72210171。

「体力づくり体操(通年)
◆市体育館」いずれも①は
10時～11時半、②は13時半～
15時、③は18時半～20時▽
火曜①健康づくり体操②リ
ズム体操③エアロビクス▽
水曜①③リズム体操②木曜
①エアロビクス③ジャズダ
ンス▽金曜①リズム&スト
レッチ体操③エアロビクス
・ジャズダンス。各講座と
も毎回同一の指導員。対象
は中学生以上。利用料は1
回大人120円、学生60円。
当日直接来館。上履き、ト
レーニングウェア持参。☎
20013255。

コンサート

「青少年のためのクラシ
ックコンサート◆パシフィ
コ横浜・国際平和会議場メ
インホール」11月8日(日)13
時半開演。指揮・佐藤功太
郎、ピアノ・田崎悦子、管
弦楽・神奈川フィルハーモ
ニー管弦楽団。曲目はリス
ト「レ・プレリュード」、ビ
アノ協奏曲第一番・変ホ長
調、「ドヴォルザーク」交響

曲第9番・ホ短調・作品95
『新世界より』。対象は高校
生以上。入場整理券の申込
みは☎24414649の
事務所。川崎ライオンズク
ラブ主催、川崎市・市教委
後援。

催し

「①七宝焼②こども版画
③講演◆県立高津青少年会
館」①は11月10、17日の18
時半～20時半。全2回。定
員10人▽②は11月22日(日)13
時～15時。手作り年賀状。定
員小学生30人▽③11月22日
(日)13時～15時。テーマは「レ
ク・クラフトから見たこと
もの世界」。定員50人。い
ずれも申込みは☎84412
101。
「ステージチャンネル2
900番◆中原市民館」11
月28日(土)18時半開演。ジャ
ズダンス、エアロビクス、
コーラス、和太鼓の競演。
入場自由。詳しくは☎84
412101の県立高津青
少年会館(主催)。
「市民天体観望会」土曜

の夜に星をみよう◆青少
年科学館「11月28日は月
(月齢4日)、金星、土星▽
12月12日は金星、土星、星
雲、星団。いずれも17時半
～19時。申込み不要。雨・
曇りの場合は中止。小学生
は保護者同伴。☎9221
4731。

「川崎能楽堂の定期能◆
川崎能楽堂」12月12日(土)▽
第一部：14時開演。狂言「鐘
の音」。野村万之介ほか。能
「経政」。本間英孝ほか▽第
二部：16時半開演。狂言「蟹
山伏」。野村武司ほか。
能「天鼓」。大坪喜美雄ほか。
入場料3千円。11月12日9
時より能楽堂で発売。問合
わせは☎22218821
の川崎市文化財団(主催)。
「リズム体操」リズムに
乗って身体も精神もさわ
やかに◆宮前市民館「11月
6～20日の毎週金曜14時か
ら。講師は日本体育大の長
野信一さん。参加無料。定
員50人。タオル、運動靴を
持参。市民健康づくり運動
推進宮前地区会議主催。申
込みは☎85613254
の宮前保健所・庶務課。

学習・文化情報

参加したい催しがある



市民天体観望会
(川崎授産学園)

〔市民天体観望会◆川崎授産学園〕11月7日(土)18時半〜20時。月、土星を観察。雨・曇りの場合は室内で天文映画とお話。川崎天文同好会協力。参加自由。小学生以下は大人同伴。☎95415011。

〔エアロビクス◆市体育館〕11月20日(金)19〜20時。楽しいステップで効果的に脂肪を燃焼し気持ちのいい汗を流す。講師はアンジー・パンナさん。参加費3500円は銀行振込み又は現金書留。詳しくは☎27714123のファックススポートクラブ(主催)。

〔影絵鑑賞会◆エポックなかはら〕11月11日(水)。午前の部(団体)10時15分、

午後の部(一般)14時開演。かかし座公演「黄金のこもしか」。鑑賞料500円。定員900人。事前に鑑賞料を添えて来館。☎72210185。

〔自然観察会◆多摩川の冬鳥・宿河原◆多摩川・宿河原堰堤〕12月12日(土)10時。JR南武線宿河原駅改札集合。対象は小学4〜成人。定員20人。雨天中止。申込みは11月17日から☎92214731の青少年科学館(主催)。

〔天体写真撮影会◆青少年科学館〕12月20日(日)17時半〜19時半。球状星団M15を撮影。対象は小学5〜成人。定員14人。雨・曇りの場合は中止。小学生は保護

者同伴。申込みは11月22日から☎92214731の同館。

ギャラリー

〔ギャラリー幸〕10月30〜11月4日：帆6彩展▽6〜11日：燿展(皮革工芸グループ)▽13〜25日：立花永光絵展▽27〜12月9日：有田政一写真展「丹頂鶴を撮る」。展示時間は11〜18時。木曜休廊。同画廊はJR川崎駅西口より徒歩5分。☎55518181。

〔ギャラリー華沙里〕10月29〜11月3日：井上陽子個展「心の華やぎ」(水彩画)▽5〜17日：一陽会グループ展▽19〜24日：2人展(神田平四郎、上田佳世子)▽26〜12月8日：劉徽(中国上海出身女流画家)。展示時間は10〜19時。水曜休廊。同画廊は小田急線新百合ヶ丘駅より徒歩5分。☎95412333。

〔画廊ランブ屋〕11月3〜8日：杉崎千鶴子フランス刺繍展▽11〜16日：鈴木緑くらしのうつわ展▽18〜

22日：常設展(海外の版画展・ピカソ、シャガール他)▽27〜12月6日：王軍展(アクリル・水彩画)▽9〜24日：画廊ランブ屋一周年記念クリスマス・イベント▽'92年度ランブ屋で個展を行った作家達による小品展(彫金、陶芸、ガラス工芸、手織り、カパークラフト、七宝など)。展示時間は11〜18時半(最終日は17時まで)。火曜休廊。同画廊はJR南武線・京王線稲田駅より徒歩5分。☎94514416。

〔青少年科学館〕11月13〜来年2月25日：生田緑地の方。生田緑地にいるガの標本や、ガが食用になっている植物も紹介。月曜休廊。☎92214731。

〔市民ミュージアム〕11月23日まで。写真展「ルイス・ボルトツ：法則」RULE W I T H O U T E X C E P T I O N。都市郊外に建築中の新興住宅が見せる不思議な表情、新興のリゾート地の荒涼とした開発風景、廃虚と化した開発見捨てられた土地のありさ

など、彼の特異な風景作品450点を展示。展示時間は9時半〜17時(金曜は20時まで)。11月4日と11月23日を除く月曜休館。入場料は一般700円、学生350円。同館主催、朝日新聞社、アメリカンセンター後援、ハイネケン協力。☎75414500。

〔かわさきIBM市民文化ギャラリー〕11月12〜24日。T o p o s、E t h n o s。現代美術における文化のはざまをめぐる。入場無料。展示時間は11〜19時(最終日は17時まで)。水曜休廊。同画廊はJR川崎駅東口より徒歩3分。問い合わせは☎22218821の川崎市文化財団。

〔麻生市民ギャラリー〕10月30〜11月4日：麻生区文化協会(絵画、生け花、手工芸)▽6〜11日：鎌倉彫り研究会▽13〜18日：銀青会(油彩)▽20〜25日：水曜会油絵教室▽27〜12月2日：くわはらパッチワークサークル。問い合わせは☎951113000の麻生市民館。月曜休館。

市産業振興財団がハイビジョンソフト

「川崎の産業遺産」を制作

国産第1号の蓄音機、扇風機、冷蔵庫は川崎で

わが国の近代工業の足跡を探访する「川崎の産業遺産」が、このほどハイビジョン静止画ソフトになり、川崎市産業振興会館（JR川崎駅西口）一階ホールの二〇〇彩ハイビジョンで毎月、定期的に放映している。同ソフト「川崎の産業遺産」は、川崎が明治以来、近代工業都市として発展した足跡を、数々の産業遺産とともに紹介。現地、川崎は国際的なパイオ・ハイテク研究開発都市として注目されているが、同ソフトはそこに至るまでの歴史を記



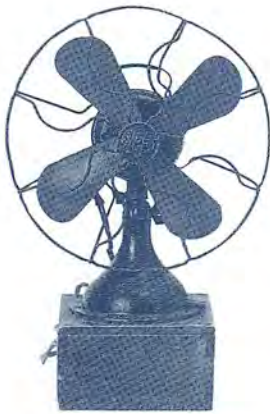
日本コロムビア製の蓄音機

録している。

同ソフトは、川崎市産業振興財団が制作し四部門で構成、放映時間は三十分。

第一部「利水と産業遺産

近代工業都市の発祥は、多摩川下流域から」多摩川や二ヶ領用水（江戸時代、小泉次太夫が開さく）など



東芝製の扇風機

の利水により、農業と工業に利用された歴史を数多くの産業遺産を通し紹介。

第二部「海外技術と産業遺産」川崎に押し寄せた欧米の先進技術」わが国近代工業と欧州や米国の先進技術とのかわりを明治時代のトーマス転炉やビルガー圧延機など、さまざまな写真で明らかにしている。

第三部「国産第一号」川崎で生まれた国産第一号」日本コロムビア製造の蓄音機や東芝製造の冷蔵庫、扇風機など数々の国産第一号が登場。現在、ハイテク製品になっているが、アンティークが見直されている今、話題になりそう。

第四部「見て歩く産業遺産」川崎の自然風土のなかや博物館で見る事ができる川崎の産業遺産」産業遺産

産は市民にかけがえのない歴史遺産だが、第一〜三部で紹介されたものを直接、見に行くときの所在地や交通の便などを示し親切。



川崎の農工業の発展に貢献した二ヶ領用水

同会館のハイビジョン放映は、十一月九、十日▽十二月八、九、十日。いずれも午後一〜五時。問い合わせは☎548-4111の同財団。

民間、公共施設のご協力で 128カ所 無料配布しています

本誌は、毎月1日発行です

「Stage Up」の無料配布場所は、計百二十八カ所です。無料で小誌を置いてくださっている関係各位のみなさまに、改めてお礼をもうしあげます。

今後生涯学習に関心をもたれる市民のみなさまのご協力で配布場所を広げたいと願っています。

『どくしゃの声』欄は今回お休みしますが、読者の率直なご意見、ご感想をお待ちしております。電話での『声』も歓迎いたします。

掲載したさいは、記念のテレホンカードをお贈りします。

■小売店

さいか屋川崎店▽ヌマヤ川崎店▽イトーヨーカドー溝口店

■金融機関

川崎信用金庫本店と川崎市内の全支店(川崎地下街出張所・小田支店・京町出張所・大島支店・大師支店・渡田支店・遠藤町支店・加瀬支店・小倉出張所・鹿島田支店・古市場出張所・御幸支店・新城支店・住吉支店・武蔵小杉支店・新丸子出張所・平間支店・宮内支店・向河原支店・梶ヶ谷支店・子母口支店・高津支

店・二子新地出張所・野川支店・有馬支店・向ヶ丘支店・稲田堤支店・宿河原支店・中野島支店・長沢支店・登戸支店・柿生支店・百合丘支店・新百合支店)

▽横浜銀行川崎市内の全支店(川崎支店・大島支店・大師支店・御幸支店・鹿島田支店・武蔵小杉支店・新城支店・元住吉支店・溝口支店・鷺沼支店・川崎北部市場支店・登戸支店・稲田堤支店・生田支店・読売ラウンド駅前支店・百合丘支店・新百合丘支店・柿生支店)

▽住友銀行川崎支店・宮崎台支店・新百合丘支店

▽さくら銀行溝口支店・柿生支店

▽神奈川県労働金庫新川崎南支店・川崎支店・中原支店・新百合丘支店

■鉄道

J R川崎駅▽J R登戸駅

■医療機関

市立川崎病院▽市立井田病院▽太田総合病院▽聖マリアンナ医科大学病院▽つつみ歯科新百合丘

■電力会社

東京電力川崎支社・高津営業所・生田営業所

■書店

文学堂本店(京急川崎駅横)

■クリーニング店

ホワイト急便金程店

■事務所

(株)川崎中央法務事務所

■公共施設

教育文化会館▽情報コーナー▽市民館▽高津市民館▽中原市民館▽宮前市民館▽多摩市民館▽麻生市民館▽菅生分館▽岡上分館
▽県立川崎図書館▽幸図書館▽高津図書館▽中原図書館▽宮前図書館▽多摩図書館▽麻生図書館
▽市民ミュージアム▽日本民家園▽青少年科学館▽市立体育館▽石川記念武道館▽幸スポーツセンター▽麻生スポーツセンター▽青少年の家▽青少年創作センター▽青少年センター
▽市役所▽川崎区役所▽幸区役所▽中原区役所▽高津区役所▽宮前区役所▽多摩区役所▽麻生区役所
▽福祉バルあさお▽労働会館▽エポックなかはら▽中小企業・婦人会館▽総合自治会館▽市民プラザ▽労働資料室▽消費生活センター▽ヨネッティ▽堤根▽ヨネッティ▽王禅寺▽産業振興会館▽フルーツパーク▽緑化センター▽県立勤労女性会館▽神奈川県第二中高年齢労働者福祉センター「サンライフ川崎」
(この他、老人いきいの家に若干部数置いてあります。)

遊びの広場
第1回目

小学生ら1万人が快適な汗
「お父さんや近所の子と遊べ楽しいな」

「一万人が「遊びの広場」で楽しんでだ」。公立小中学校の週五日制に伴い、川崎市教委が毎月第一土曜、小学校の校庭などで実施する「遊びの広場」の第一回目が九月十二日、百十二校であった。

この日は快晴だったが、残暑が厳しく参加者の出足が心配されたが、小中学生九千三百八十八人とその父母ら千六百六十人の計一万五百四十八人がドッジボールやサッカーで汗を流し歓声をあげた。

参加者のほとんどは小学生で、「お父さんと朝から遊ぶのは初めて。楽しかった」「近所の子ども五人と来たけど、学年がバラバラの子と遊ぶのは久しぶり」と、全身に汗をかき

ながら瞳を輝かせていた。

小学生の参加者を九千人とすれば、公立小学生全児童七万人の一割以上の児童が参加した計算になり、「遊びの広場」を運営した地域ボランティアの人達は、「子ども達がどのくらい参加するか不安もあったが、第一回目としてはまずまずの成果。今後子ども達が楽しめる遊びを心掛けたい」と話していた。

子どもの参加がもつとも多かったのは末長小「遊びの広場」の二百六十二人。一校平均八十人の三倍以上になる。同小のメーンの遊びは「タウンラリー」。チェックポイントを八カ所設け、四人一組で時間を競うゲームのユニークさが受けられたらしい。



▶ドッジボールに汗を流す小学生

多かった遊びの種類は、ミニバスケット六十四校、ドッジボール五十七校、サッカー五十二校、校庭遊具同一輪車三十七校、縄跳び三十五校、フットベースボール二十九校、輪投げ二十八校、ミニバスケット二十三校、バドミントン二十一校——など。



▲高学年に混じりミニバスケットを楽しむチビ子(宮前区内で)

編集後記

今号の編集作業中の10月初旬の朝、事務室に一匹のコオロギが迷い込んでいるのを編集チーム・スタッフが見つけました▼清掃に来た女性が「ビルの地下

2階にどうして入ってきたのでしょうか」と、宝物を扱うようにしてコオロギを手のひらに乗せ、庭の縁へ放しました▼本当に季節の移り変わりは早いものです▼さて「ほんねインタビュー いまを話す」は、今号のゲスト、米山市郎さんが10回目になります▼これまでに9人のゲストをお迎えし、インタビューも同数の女性の方に担当していただきました▼ほとんどの方が「インタビューの体験は初めて」でしたが、その情熱は驚くほどでした▼当チームスタッフとの打ち合わせ前に、ゲストについての知識を勉強され、インタビュー前夜まで質問を再整理された方も少なくありません▼「いまを話す」のスタートは昨年九月号で、この頃、K日刊紙の記者から「あれは手間がかかる。龍頭蛇尾にならないか」と心配していただきました▼お陰で他都市からも反響があり、好評です▼今後も市民の皆様のご協力を得て、魅力あるインタビュー記事を中心したいと考えています。

発行 財団法人 川崎市生涯学習振興事業団

同事業団生涯学習情報コーナー

〒210 同市川崎区富士見二の一の三 教育文化会館一階
電話 (044) 13316250

編集人 田中 園

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合21ビル
電話 (044) 95215000 FAX (044) 95212350

迫る
前売り

かわさき★ニューイヤーコンサート

平成5年1月10日(日)・P.M.6:30開演 川崎市教育文化会館 大ホール

出演——かわさき室内合奏団メンバーとオーディション合格者

ヴァイオリン 久保陽子 ビオラ 店村真積 ピアノ 弘中 孝
トランペット 津堅直弘

オーディション合格者13人



北井 康一
(ピアノ)



塩塚美知子
(ピアノ)



梶川 程代
(ピアノ)



中島 春子
(ピアノ)



森永理恵子
(ピアノ)



今井 睦子
(ヴァイオリン)



村主 良子
(ヴァイオリン)



浅野真知子
(チェロ)



田中 玲子
(ユーフォニウム)



上久保奈津子
(ホルン)



大久保秀子
(声楽)



三河尻晴美
(声楽)



川嶋
声
祐
楽
子

曲 目 —— ○プーランク作曲「ホルン・トランペット・トロンボーンのためのソナタ」1922年作 ○ドホナーニ作曲「ピアノ五重奏ハ短調作品1」 ○北井康一編曲「およげ!たいやき君」主題によるバッハ・モーツァルト風序曲K・K 80A・アレンスキー作曲「組曲第2番シルエット作品23」より ○グノー作曲 歌劇「ファウスト」より 宝石の歌 ○ベルリーニ作曲 歌曲「清教徒」より あなたの優しい声が 他

チケット取扱店 ◆044-222-3090川崎音協 ◆044-245-3168西武川崎店3階チケットセゾン
◆045-572-7377西友鶴見店2階チケットセゾン ◆044-511-5491北野書店(鹿島田駅前) ◆044-233-6361 教育文化会館 ◆川崎市内の各市民館

予約・問い合わせ先 ☎044-952-5000の川崎市生涯学習振興事業団
☎044-233-6250の同事業団情報コーナー

前売り —— 11月25日(水)発売・電話予約開始

入場料 —— 1,000円(全席自由)

●主催 (財)川崎市生涯学習振興事業団

●共催 川崎市教育委員会

〈横浜銀行〉だけの1枚3役、
スーパーカード。



YOKOHAMA
BANK CARD INTERNATIONAL

- ①海外・国内でショッピング、キャッシング。
- ②全国の銀行、提携金融機関で、お引き出し。
- ③急な出費時には、自動融資で安心便利。

VISA、マスター、JCBの3ブランドからお選びください。

加藤雅也



主役は、横浜バンクカード。

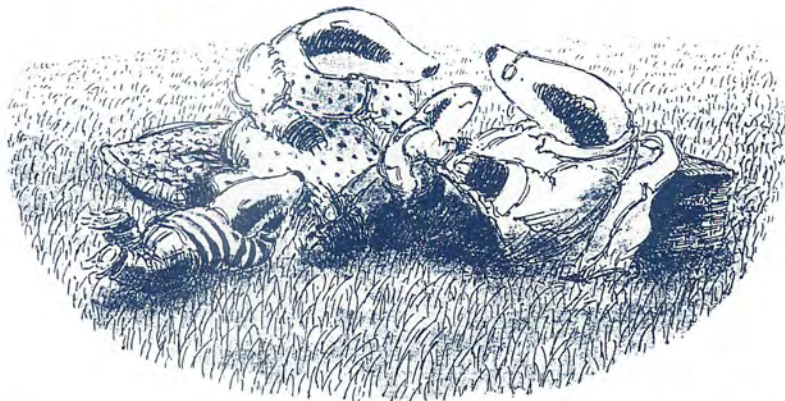
お問い合わせ・お申し込みは  **横浜銀行** 川崎支店 (044)222-5521 (大代)



夢ある社会へ
東京電力

家庭がいちばんあったかい。

電気は明るい生活のエネルギーです



電気に関するお問い合わせは 東京電力川崎支社 ☎ **044-233-9111**

TEPCOとは東京電力株式会社の英語名Tokyo Electric Power Companyの略称で、テブコと呼びます。